

校長室だより

共学共高

第
83
号

令和7年9月20日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

楽しんだ～第62回白梅祭

今年度の白梅祭は、9月13日（土）・14日（日）に開催された。13日は校内発表で、14日が公開日である。私は12日（金）の部活動企画のリハーサルを見た後、いかに13日のうちにクラス企画等を見て回れるかと考えていたが、思うように進まなかった。各クラス企画で思った以上に時間を要したからである。それでも14日の午後には、すべてのクラス企画を回ることができ、安堵した。

いくつかのクラス企画について、紹介したい。

1年6組の「呪われた幽霊船と時の鍵」は、お化け屋敷系なのかと思いきや、そうではなかった。入り口で映像による説明を受けてから中へ進むと、謎解きが2つあった。謎解きをするためのヒントのさいころを見ながら、解を見つける。最終的に3つの数字が明らかになり、宝箱を開錠して開けると、「時の鍵」が出てきて、それを使って無事に脱出することができるのだ。謎解きができなかったときにはどうなるのかは確認しなかった。みんな無事に脱出できたのだろうか。

同じ謎解きが駆使された企画が、1年7組の「囚われた幼馴染を助けよ」である。こちらも入り口で映像による説明があり、一緒にいた幼馴染が神社で居なくなってしまったという設定である。見つけるためにはいくつかの謎解きをしなくてはならない。私が最も苦労したのは、鉄道に関する謎解きだ。ヒントの書かれた紙をいくつか開くのだが、「はずれ」が多くて、なかなかヒントにたどり着けなかった。かなり難易度が高いが、ゴールまで係りの生徒が寄り添ってくれるのも心強かった。

1年3組の「占いの館」では、カード占いが人気なのだろうか、待っているお客さんの列ができていた。私は、係りの生徒に誘われるがまま、空いている「心理テスト」をやってもらった。実は前日にはタロット占いをしてもらったばかりなのだが。タロットも心理もいずれもよく当たっていたので、驚いた。帰りにくじ引きがあるのも嬉しい。



2年2組も「占 now」という同様の企画だ。ここでは凝った内装になっていて、私は手相占いをしてもらった。感情線、頭脳線、生命線などを見てもらい、いずれもよく当たっていた。占う生徒の顔が見えないセットになっているので、誰に占ってもらったのかわからなかったが、後ほど廊下で出会ったときにTさんであることが判明した。

2年4組の「多摩川の海賊」は、二人1組で木製の海賊船に乗り、海賊の世界を旅する企画だ。私は、Tさんと一緒に乗り込んだ。係りの生徒が後ろから船を押してくれるのだが、スロープに差し掛かったところで、車輪がスロープの継ぎ目にはまってしまい、動けなくなった。「私が重いからかな。降りようか」と声をかけたが、係りの生徒たちは応援も頼んで、笑いながら無事に脱出させてくれた。思わぬハプニングがあるものだ。

2年6組の「はじめましてのおつかい」は、与えられた指示書にしたがって、買い物をする設定だ。例えば「つぶつぶからなる果物」とあれば、「ブドウ」というように自分で指示書に基づいて肉、水産物、野菜、果物、お菓子などを買い物かごに入れて、レジで精算するといった企画だ。小さなお子様には人気だったのではないだろうか。私は無事に3700円分の買い物を終えることができた。後ほど、ご来賓としてご来校くださった小平市長の小林様にお話を伺ったら、「少しお金があまったので、別のものを追加で買おうとしたが、消費税分を取られてちょうどの金額でした」とのお言葉があった。ご参加、ありがとうございます。



3年3組の「3-3 ライブハウスレトロバー！」は、バーのセットがなかなか素敵だ。舞台ではタイムスケジュールに従ってさまざまなイベントが行われている。私は「アイドル」を見た。Fさんを中心とした複数の生徒たちがアイドルに扮して歌や踊りを繰り広げるのだ。観客席の生徒たちも盛り上がっている。若い人たちは、こうやっていわゆる「推し」のコンサートなどで盛り上がるのだらうと学ばせてもらった。司会の生徒が「後でFさんのサインももらえます」と言っていたので、シャツにサインしてもらおうかと思ったが、思いとどまることにした。

3年5組の「ROUTE66CAFE」と3年6組の「推せ×2愛♡スクリーム」は、共にアイスクリーム販売がメインであった。私はこの日は、3年1組とバド部とを合わせて、アイスクリーム4個を食することとなった。ちなみにお腹は壊していません。

3年4組の「現代版シンデレラ*魔法より掃除」はミュージカルである。3年7組の演劇「時をかける少年」と共に、同じ教室に舞台を設置して、交互に上演する形式をとっていた。冒頭に登場する「継母」がユニークで観客の心をしっかりとらえていた。演技も歌も上手だ。シンデレラも見事な演技であった。誕生日パーティーに掃除用具をプレゼントとして持ってきて、王子？の心をつかむ展開に笑えた。近くの観客から「レベル高いね」との声が漏れていた。

3年7組の「時をかける少年」もシンデレラと同様、オリジナルの脚本のようだ。歴史好きの少女マナミが少年に成りすまして、過去にさかのぼり、ギリシャとトロイアの争いの歴史を平和的な歴史へと変えてしまうストーリーにメッセージ性を感じた。どのキャストも楽しみながら好演していた。



部活動の企画も相変わらず頑張ってくれていた。体育館で上演・演奏する部はもちろん、多目的ホールで演奏した箏曲部と合唱部も多くのお客様に楽しんでいただくことができた。

父母と先生の会による「キッチンカー」も今年は5台展開され、大いに賑わっていた。私も食べたい気持ちはあったが、生徒たちの企画でさまざまな食品を購入し、食べきれない状

況となってしまったので、遠慮することにした。本部役員の皆様、申し訳ありません。





今年から、クラス企画について、在校生・来場者に投票してもらい、グランプリを決める企画が取り入れられた。どのクラスがグランプリに輝くのだろうか。楽しみである。

そういう私自身、校長賞をどのクラスにするか、これほど思い悩んだ白梅祭は、初めてである。

何よりも生徒たちが創り上げてくれる学校文化を楽しめる、そのことが嬉しい。

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）



